

井草中学校がCS推進フォーラムで発表しました。

1. コミュニティスクール推進フォーラムに参加

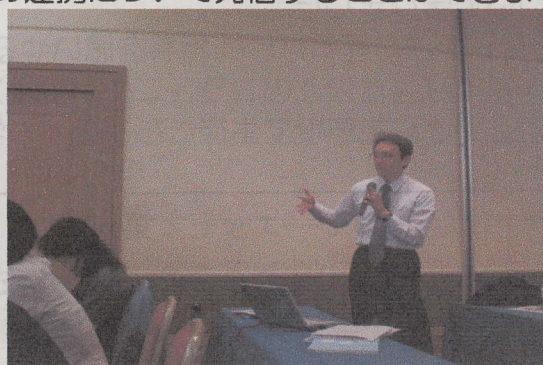
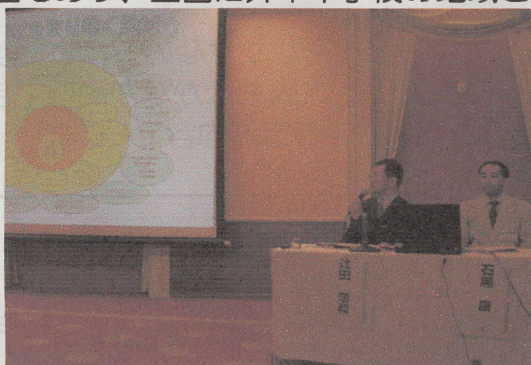
夏休みも終わりに近い8月25日に札幌で行われた文部科学省主催のコミュニティスクール推進フォーラムで、「学校運営協議会の立ち上げについての課題とその克服法」について、というテーマで事例発表を行ってきました。(詳細は以下のアドレスをご参照ください。)

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/2008/08070202.htm

フォーラムには全国各地で、これから地域運営学校としてCS運営協議会を立ち上げようとする学校や、教育関係者が多く参加しました。

井草中からは石黒委員・辻田委員が発表を行い、井草中学校が平成17年に地域運営学校への応募を見送り、その後学校支援本部”〇“の立ち上げを経て、地域運営学校に指定されるまでの経緯をプレゼンテーションソフトを用いて説明しました。

発表内容に興味をもたれた方が多く、CS立ち上げまでの経緯について活発な質問がなされました。会場に駆けつけた坂野委員長、寺田校長の飛び入り参加での質疑応答もあり、全国に井草中学校の地域との連携について発信することができました。



発表資料が井草中学校のホームページの地域運営学校のページにアップされていますので、ぜひご覧ください。

<http://www.igusajh.sakura.ne.jp/gatukou-uneikyougikai/community-school-forum.html>

2. PTA役員、学校支援本部役員、教職員とCS委員の懇談会を実施

CS推進フォーラムの発表内容の報告を、8月28日にPTA役員、学校支援本部役員、教職員とCS委員の懇談会で行いました。発表内容をベースに、参加者がグループごとに分かれて井草中学校の特色“井草方式”について話し合い、その内容をキーワードにまとめて競い合いました。優秀作品は以下のとおりです。

- | | |
|-----|-------------------------|
| 第1位 | “ずっと見てきた、ずっと見ていくイグサランド” |
| 第2位 | “双方向で安心感” |

表彰は懇談会を兼ねたバーベキュー昼食会で行い、優秀作品にはおいしい札幌のお土産が賞品として送られました。



3. レスキュー隊、ボランティア隊の地域活動報告

2学期早々からも生徒たちは地域との連携でおやじの会とともに9月7日の震災訓練中学生レスキュー隊が震災訓練に参加、14日の井草区民センターまつりではISSのボランティア隊が綿あめ、ポップコーンの模擬店参加と大活躍しています。



4. 「礼儀とマナー研修」実施

CS委員の研修で小笠原流礼法師範の鈴木万亀子さんをお招きして、礼儀とマナーについて学びました。

礼儀作法の基本は、「相手を思いやる」・「相手に恥をかかせない」ことです。また礼儀とは人と人とのコミュニケーションのことです。大人もなかなか説明できない内容を凛とした態度で生徒たちともども学び、心が引き締まる内容でした。

井草中探訪 ～リレーエッセイ第3回

ISS副会長、CS委員、井草中支援本部“えん”役員

(井草中PTAと生徒をずっと見守り続ける) 江畑 洋子さん

現PTAの方から異口同音に言われる言葉があります。お子さんは卒業しているのにどうして学校に関わってくださるのですか?・・・と。確かに子供は5年前に卒業しています。どうしてでしょうか!!

平成14年、当時井草中は大変な時を迎えておりました。風評による学校の評判の低下、そして学校選択制が始まり生徒数の激減。実際に当時の井草中学校では、学校と保護者の関係が今のように良好ではなかったことも事実です。

その嵐の中でPTAとして何ができるのか?それが当時PTA副会長だった私に与えられた課題でした。その年のスローガンは“手と手をつなぐ”(学校、保護者、生徒の手)。しかし一度離れた手をつなぐのはなかなか難しい事でした。そしてどこにも持って行きようのない親たちの悲鳴にも似た声がたくさんありました。そういう親たちの一助となれば・・・、そんな思いで今でも井草中学校でCS委員をさせていただいております。困ったことがあったら何でも相談してください!

今年は井草中も60周年を迎えます。紆余曲折がありましたが、井草中から育った子供たちが楽しい中学生時代を過ごした!との思いを持ってくれればとっても嬉しいです。ね。

CS学校運営協議会日程 10月15日18時30分～、11月19日18時30分～
12月17日9時30分～

☆ どなたでも傍聴いただけます。(一部内容により非公開)